

村の将来、質問します



▲子ども議会のようす

小学6年生が村の課題や将来を真剣討議

第4回子ども議会は1月22日に役場庁舎内の議場で行われ、村内の小学6年生が、合併問題など村の課題について質問・提案しました。

これは、村の議会では、普段どのような話し合いをしているかを実際に体験しながら学び、政治への理解を深めようと毎年行っているものです。

子ども議会は、一般質問の形式で行われ、議長は草野小学校の菅野則幸君が務めました。質問者は各学校から2人ずつ、また、各学校から一つずつ提案をしました。

子どもたちは、村長はじめ役場の各課長を目の前にして、緊張気味の様

子でしたが、提案者・質問者が議長から名前を呼ばれると、それぞれ大きな返事をして演台に進み、環境や施設整備に関すること、合併問題についてなどを村に提案・質問していました。



初日の出ふれあい家族駅伝 in いいたては、1月1日元旦に行われ、5組の家族と4組の夫婦が家族・夫婦のきずなを深めました。

今年から飯樋の柔剣道からスポーツ公園に会場を移して行われたこの駅伝大会では、午前8時50分、菅野村長の号砲でスタートした参加者たちが1人1キロの距離で走り初めをしました。

レース終了後はもちつきが行われ、参加者は暖かいおもちを食べながら正月の思い出を作っていました。

